

- ・2面…住民実態調査の結果は
- ・3面…競輪場でイベントが
- ・4面・5面…総合計画素案の3つの重点目標と12のプランを紹介



●発行 神奈川県平塚市役所
〒254 平塚市浅間町9番1号
電話23-1111・35-1111 FAX23-9467
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/
●編集 企画部広報広聴課/発行部数102,000部

総合計画の素案を紹介

未来を担う子どもたち



潮風と花のかがある

ひらつか南まぢづる

まちづくりを進めていく指針となる総合計画の「素案」がまとまりました。そこで、重点目標としている「地域で支えるいきいき「コミュニティ」にぎわいと躍動のまちづくり」「みんなで親しむ水辺とみどり」を紹介します。(四・五面に概要を掲載しています)

現在の総合計画は昭和六十三年に策定されましたが、この九年間に、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、新しい政策課題や時代のニーズに対応し、将来の平塚の姿を明らかにするため、総合計画(基本計画)の見直しを進めています。計画期間は、平成十年から十八年度までの九年間です。

市民参加で進めてきました

よりよいまちづくりを進めるためには、市民のみならずと行政とが互いに知恵を出しあって、協力していくことが大切です。

そのため、今回の総合計画の見直しにあたっては、およそ五千人の市民のみならずへのアンケート調査、自治会などを通してお配りしたアイデア募集用紙、まちづくり市民のつどいなどでたくさんのご意見をいただきました。反映状況は四・五面に掲載しています。

ご意見をお寄せください

この計画を「生きた計画」とするためには、みなさんの理解、そして協力が欠かせません。素案に対するご意見を、ぜひお寄せください。

▽市長への手紙 郵送料市負担の手紙。公民館などの公共施設にあります。

▽なでしこファクス 送付料市負担のファクス。番号は0120-704589。体裁は自由です。

※いずれも「総合計画について」と明記してください
◇担当 企画調整課(内線327)

大野中が全国ベスト8に

「日本は選挙の棄権に罰則を設けるべし。是か非か」をテーマにしたディベート甲子園。この大会で健闘した大野中学校の生徒さんに話を伺いました。取材は市政モニターの大谷守司さん(四之宮)



大会時に交わした色紙を手にしたメンバーたち(伊藤君は取材時に欠席)



第二回全国中学・高校ディベート選手権が八月一日から三日間、千葉と東京で開催されました。この大会に県代表として初出場した大野中学校が、参加三十二校の中で準々決勝まで進む健闘を見せました。しかも昨年度の優勝校を破つてのことです。

メンバーは伊藤裕貴君・小森雄太君・長島理君・門田美由紀さん・神山侑加さん・山崎あゆ美さんの三年生六人で、規定により四人が大会に臨みました。

ディベートとは、ある論題の是非について肯定・否定の立場に分かれて討論するものです。試合は立論に始まり、相手の論拠を崩すための質疑・反駁を加え、お互いの主張の論理や思考力を競い、肯定側・否定側の優劣を争うものです。全国大会ということで野球の

甲子園に対し、討論の甲子園といわれています。二年前に社会科の米倉順・岡本宏両教師の指導で始めましたが、今年の四月二十日に選手権への参加が決まってから論題の根拠となる調査を始めました。図書館で専門書を調べたり新聞、ニュースなどから情報収集したりして問題点の整理をしました。そのうえで肯定・否定の立場に立って、下校時刻ぎりぎりまで毎日練習を続けました。先生も参考書を買求めたり、他校との練習試合を組んだりするなど地道な指導・助言をされたようです。

大会では、常時出場の有名校やベテランチームばかりで、緊張のあまり思ったことの半分も言えないときがあったそうです。大会を終えて「やりぬいた解放感を感じた」とのことでした。最後に、苦勞話を聞いたところ「部活動はできなかつたが、社会科はよく分かった」「きついと思っただけだ」「これからも機会があれば続けたい」との発言があり、とても印象に残りました。

住民実態調査の結果は

環境保全

女性問題

広報ひらつか

どう生かすのか

「住民実態調査」の結果(速報)の概要をお知らせします。

今年度は、「環境保全」など全十四問の質問をしました。対象は、無作為抽出した満十六歳以上の市民のみなさん・四千五百八十六人で、回答は二千三百

四人からいただきました。回収率は五〇・二％でした。

また、自由意見欄には一千八百七十件の意見をいただきました。最も多かったのは公園の増設など「公共施設等について」で三百三十三件、次いで道路網の整備など「交通関係」が三百二十七件、ごみ問題など「環境問題」が二百七十四件となっています。逆に、昨年の調査項目の「防災について」は六件で最も少なくなっています。

環境保全について

Q 環境問題を解決するために、だれが主体となって行動をおこすべきか

- ①市民 3・2%
- ②事業者 0・5%
- ③行政 5・2%

広報ひらつかは

Q どの程度読んでいるか(ほかの質問で「届いている」とした85・9％の方に質問)

- ①全体をくまなく 27・1%
- ②興味のある記事だけ 54・8%

着用するよう習慣づける

- ・乳幼児や学童には、チャイルドシートやジュニアシートを利用する

違法駐車を追放

十月の一月間、県内全域で違法駐車と放置自転車・バイクの追放運動を展開します。

市内では、今年既に駐車車両に衝突した死亡事故が二件発生しています(八月末現在)。違法駐車は事故の原因となるばかりでなく、交通渋滞を引き起こしたり、消火・救急活動の障害になったりします。

一人一人が「他人への思いやり」を持って、交通ルールや駐車マナーを守って、安全で住みよいまちづくりをしましょう。

▽担当 交通安全課(内線640)

- ④市民と事業者 1・0%
- ⑤市民と行政 8・7%
- ⑥事業者と行政 3・3%
- ⑦市民、事業者、行政の三者 74・9%
- ⑧わからない 1・2%

Q 生活環境を快適にするためには、どの方法が有効か(2つまで選ぶ)

- ①学校や職場などで環境教育を積極的に進める 29・0%
- ②市が広報紙やパンフレットなどで啓発を進める 10・5%
- ③家庭ごみの減量など、身近な問題から手をつける 47・2%
- ④環境先進都市を宣言して、市民運動やボランティア活動など市民全体で取り組む 20・2%

Q 主に読んでいる記事は(3つまで選ぶ)

- ①市の事業などを大きく取り上げた記事 58・4%
- ②各種手続きや制度の案内 41・2%
- ③スポーツや文化芸術などのイベント 39・0%
- ④講座や教室等の募集 21・8%
- ⑤各種相談 15・7%
- ⑥育児・健康・福祉 20・2%
- ⑦サークルや市民活動の紹介 18・9%
- ⑧市民の意見や要望にこたえる記事 24・6%

Q 四番目に高く、市政への関心の高さがうかがえます。また、男女別にみると、④⑥をあげたのは女性が男性の二倍以上となっています。

どう生かすのか

今回の調査の結果を受けて、「広報ひらつか」は何をどう変えるのか、また、変えられないのかについて、十一月十五日号

- ⑤市民と行政が協力してモデル地区を築き、徐々に地域を広げる 34・3%
- ⑥市でさまざま(条例)を作って規制を強化する 34・5%
- ⑦その他 2・9%
- ⑧わからない 1・0%

Q ③をあげる方が最も多く、自らの努力が必要であることを示しています。また、⑥で「条例」の必要性を訴える方や、①⑤など啓発活動が有効だと考える方も多くなっています。

男女で意識の差が

女性問題について

Q 男女間でどちらが優遇されていると感じているか

- ①家庭生活、②職場や学校、③地域、④慣習やしきたり、⑤法律や制度、⑥社会全体、について質問しました。いずれの項目も「男性の方が優遇されている」と感じられています。また、そう感じている割合は女性の方が高くなっています。特に、③⑤⑥では女性が男性を大きく上回り、意見の違いを示しています。男性が「男性が優遇されている」と感じているのは④と⑥で高くなっています。

Q 男女の役割についてどう思うか

- ①仕事には女性向きも男性向きもない②女性が仕事を持つのはよいが、家事、育児はきちんとすべき③夫は外で働き、妻は家庭を守るべき④妻を扶養するのは夫の務め、について質問しました。

①は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると六一・九％となりました。②は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると六七・六％となりました。男女で比べると③④については差が大きくなっていて、役割分担に対する意識の違いがかわっています。

防災マップ・防災ハンドブックを

自治会を通してお配りしています



各地区の避難施設や街頭消火器などの位置が分かる「防災マップ」と、非常持ち出し品の一覧表などが掲載されている「防災ハンドブック」を、自治会を通してお配りしています。

自治会に加入していない方や、お手元に届いていない方は、各地区公民館にも置いてありますので、ご利用ください。

▽問い合わせ先 防災課(内線143)

私の提案コーナー・広聴パトロール

あなたの「声」を聴かせてください

みなさんのご意見・ご要望をお聴きし、市政に反映させるため、広報広聴課の職員が地区公民館を訪問する「広聴パトロール」を実施しています。昨年度は、まちづくりへのご意見などを、265件いただきました。今年は下記の日程で実施します。ぜひ、あなたの「声」を聴かせてください。

- ◆9月25日(木)19時~21時 大野公民館
- ◆9月26日(金)19時~21時 須賀公民館
- ◆9月30日(火)19時~21時 花水公民館
- ◆10月9日(木)14時~16時 中原公民館
- ◆10月16日(木)14時~16時 崇善公民館
- ◆10月17日(金)19時~21時 松原公民館

▽問い合わせ先 広報広聴課広聴担当(内線355)



美術館学芸員の募集

- ◆募集人数 1人
- ◆受験資格 昭和45年4月2日以降に生まれた人で、4年制の大学以上で美術に関する専門分野を専攻して卒業した学芸員資格を有する人、または平成10年3月に卒業見込みで資格取得見込みの人。および前記と同等の専門知識を持ち学芸員資格を有する人、または資格取得見込みの人
- ◆申し込み方法 所定の「申込書」に必要事項を記入して、9月16日(火)~30日(火)の間の平日に、本人が職員課へ直接持参する
- ◆1次試験 10月10日(祝)
- ◆採用予定 平成10年4月1日
- ◆受験申込書の請求・問い合わせ先 職員課(市役所3階・内線321)

9月納期の市税・手数料

納期最終日 9月30日(火)

- ◇固定資産税 (第3期)
- ◇国民健康保険税 (第4期)
- ◇国民年金保険料 (第6期)

- ◇清掃ごみ手数料 (第2期)
- ◇清掃し尿従量手数料 (第6期)
- ◇公共下水道使用料 (第6期)

オールスター湘南フェスティバル

9月21日、平塚競輪場で オールスター競輪のイベント



BMXの華麗な演技

プロ野球に例えると「オールスターゲーム」にあたる第四十回オールスター競輪が、九月二十五日(木)から三十日(火)までの六日間、平塚競輪場で開かれます。

このオールスター競輪を記念して「オールスター湘南フェスティバル」が、平塚競輪場で開かれます。

会場では、BMXショー、グッチ裕三ショー、フリーマーケットなど、様々なイベントが催されます。

入場は自由ですので、ぜひ、

ご家族そろって、お越しください。

▽日時 9月21日(日)午前11時～午後4時

▽問い合わせ先 事業課(21) 3935

※駐車場はオーミケンシ跡地や相模川河川敷などを留意してありますが、なるべく自転車、または徒歩でご来場ください。

浅間祭に参加しよう

十一月一日、二日の二日間、青少年会館と同館前広場で開かれる「浅間祭」に参加してみよう。

お問い合せは青少年会館(32)7029へ。

主な内容

- ◆ステージゾーン
 - ・TVゲーム大会 11:45～
 - ・グッチ裕三ショー 14:30～
 - ・お楽しみ抽選会 15:30～
- ◆その他のゾーン
 - ・猿まわしショー 12:00～、13:30～
 - ・BMXショー 11:30～、14:00～
 - ・素人参加足自慢レース 13:00～(先着順受け付け)

※ほかにフリーマーケット、ミニSL、ふれあい動物園など

市民文化講演会開く

元横綱琴桜・佐渡ヶ嶽親方が講師

努力の横綱として人気の高かった元横綱琴桜、現在は親方として活躍中の佐渡ヶ嶽慶兼さんを迎えて、市民文化講演会を開催します。市と東京電力平塚営業所の共催。入場は無料です。

演題は「相撲人生」で、講演のほかに県立ろう学校「鼓舞子」

生涯学習講座です

テーマは「しなやかに・すこやかに・心と身体」です。お早めにお申し込みください。

▽日程と内容 10月25日「介護保険」、11月1日「わたしの生き方」、9日「ストレス対策」

▽時間 午後1時30分～3時30分

▽会場 中央公民館(11月9日)

のみMNビル11階会議室

▽対象 市内にお住まい、お勤め、または通学している方、なるべく三回とも参加できる方

▽定員 百人(先着順)

▽申し込み方法 はがきに住所氏名、電話番号を記入して、社会教育課「生涯学習公開講座」係(〒254平塚市豊原町2-21)へ

▽問い合わせ先 社会教育課(内線524)

対象は小学四年生から六年生まで、会場は青少年会館の体育館です。受講料無料。

▽日時 9月27日、10月4日、18日、25日の全4回(いずれも土曜日)、午後2時～4時

▽定員 20人(先着順)

▽内容 基礎的なルールと技術▽持ち物 ラケット、体育館履き、運動着、タオル

▽申し込み方法 電話または直接青少年会館(32)7029へ

子ども卓球教室

店舗の近代化や消費者サービスの向上などを競う「平塚店舗コンクール」が開かれました。

今年度は十九店舗が参加し、最優秀賞と優秀賞には次の店舗が選ばれました。(敬称略)

▽一般小売り業店の部

- ・最優秀賞 茶加藤平塚店(明石町)
- ・優秀賞 鳥仲商店(黒部丘、Marshall de Meubles(袖ヶ浜)、ヨネサワ楽器(宮松町)

▽飲食・サービス業店の部

- ・最優秀賞 美容室ART THE SEA(豊原町)

店舗コンクールが

よい歯の作文は

よい歯の作文コンクールの入賞者が決まりました。応募総数百四十六点。「優秀」に選ばれた方は次のとおりです。(敬称略)

▽藤井有紀(崇善小1年)、中平明宏(神田小2年)、佐藤美奈子(金目小3年)、尾形知美(花水小4年)、磯村聡美(城島小5年)、浅見明憲(吉沢小6年)、楠原蓉子(金目中2年)、久永佳恵(土沢中3年)

▽一席 水たまりにつなぎ蜻蛉は尾を浸す短き命の翅ひからせて 河内初子(虹ヶ浜)

▽二席 上下するミシンの針を見てをれば生きゆくことの辛し

よい歯の作文は

無限に 笹尾雅美(平塚)

▽三席 野球場の照明浴びる公園に蝉は眠れず夜更けをも啼く 川上辰江(諏訪町)

◆川柳 選題「夏」、応募百四十二句

▽一席 手鏡の目鼻が溶けている酷暑 土谷正(大島)

▽二席 夕立に息吹きかえす夏木立 宮前チヤ(上吉沢)

▽三席 ひと夏のドラマに育つ愛の詩 武芳一(平塚)

◆現代詩 題は自由、応募11編

▽一席 「鏡」館田昭三(土屋)

▽二席 「ざりがに」笹尾雅美(平塚)

▽三席 「ころ」早川光子(高村)



我が家の防災対策を確認<連載(25)>

ぐらっと地震！ こんなときはどうする？

寝ていたら……

布団やまくらなどで頭を守りながら、倒れる恐れのある家具(タンスや鏡台など)からできるだけ離れましょう。

下にもぐることができるベッドで寝ている場合は、迷わずベッドの下にもぐり、揺れがおさまるのを待ちましょう。

◇担当 防災課(内線143)



市議会を傍聴してみませんか

～市議会9月定例会は9月29日まで開会しています～

- ◆本会議(総括質問) 16日～19日
- ◆常任委員会 22日、24日
- ◆湘南丘陵特別委員会 25日

市議会の会議は、原則としてどなたでも自由に傍聴できます。お気軽にお出かけください。本会議の傍聴は、専用の入り口が議事堂北側2階にあり、議場へは傍聴者名簿に住所、氏名を記入していただくだけで入場できます。

ただし、傍聴席は本会議場が76席、委員会室が9席程度ですので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。



◇担当 議会事務局(内線369)

守っていますか ごみの出し方ルール

◇問い合わせ先 環境衛生業務課(内線530)

ごみは、きちんと分別して、決められた日時・場所に出してください。分別の仕方や、各地区の収集日が分かるパンフレットは各地区公民館にありますので、ご利用ください。

◇資源再生ごみ(古紙類、金属類、びん類、布類、てんぷら油)、燃せるごみ(生ごみなど)、燃せないごみ(プラスチックごみ、乾電池など)、臨時ごみ(大型ごみなど…申し込み制)

特集

パーソナリティ



まちづくり

本系の整備を推進し、利便性... 市街地の景観や環境を整備... ネットワークの形成



業情報のネットワーク化や多... イベントの開催により、活力... 産学公... 産業の創出や既存産業の高

1 地域で支えるいきいきコミュニティ

〈1〉 みんなではぐくむ地域福祉プラン

地域住民が互いに支え合う福祉のしくみづくりやボランティアの育成を強化します。また、お年寄りや障害のある方に配慮した生活環境づくりを進めます。

- こんなプランを
○「町内福祉村」構想の推進
○福祉活動に対する市民意識の高揚
○市民参加による福祉活動の推進
○高齢者や障害者に配慮したまちづくり



〈2〉 たすけあい自主防災プラン

防災に対する市民の意識を高め、「みんなのまちはみんなで守る」という連帯感に基づき、地域の自主防災体制を強化します。また、災害に強い安全なまちづくりを進めるとともに、災害発生時における安全な避難と救援活動の円滑化を図ります。



- こんなプランを
○防災意識の高揚
○自主防災組織の強化
○災害情報システム・ボランティア体制の整備
○安全なまちづくり

〈3〉 自然との共生 環境クリーンプラン

ごみの排出抑制やリサイクル、省エネルギーの推進により、環境負荷の少ない、地球にやさしいライフスタイルの確立をめざします。また、豊かな自然や生態系を大切に、自然と人が共生するふるさとづくりを進めます。

- こんなプランを
○地域環境像の創造と環境意識の啓発
○地球にやさしいエネルギー対策の推進
○循環型社会システムの実現
○自然との共生をめざした環境づくり



〈4〉 生きるよろこび文化・生涯学習プラン

多様な文化・生涯学習活動を支援し、すべての市民が楽しく学び、生きがいを感じる地域社会の実現をめざします。また、文化・生涯学習の活動を通じて、人々のふれあいや新たな文化の創造を図ります。



- こんなプランを
○新しい文化の創造
○文化・生涯学習活動の充実
○地域で支える教育の推進
○日常的な活動の場・交流機会の充実

新総合計画の素案まとまる

3つの重点目標と12のプランを紹介しします

新しい総合計画の「素案」では、分野別に整理した施策体系とともに、重点目標として、地域生活をほぐす「いきいき」コミュニティ、都市の活力を創出する「にぎわい躍動」、ゆとりと豊かさを実感するための「水とみどり」の3つを掲げています。そこで今回は、重点目標と、目標達成のための12のプランを紹介しします。

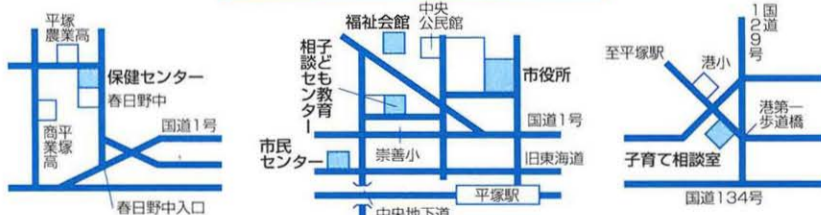
◆地域で支えるいきいきコミュニティ：市民や企業とともに、地域福祉や自主防災、環境保全、生涯学習等の活動を活性化し、いきいききコミュニティづくりを促進
◆にぎわいと躍動のまちづくり：快適で利便性の高い都市基盤の整備や産業の活性化を図り、にぎわいと躍動のまちづくりを進めます
◆みんなで親しむ水辺とみどり：水辺とみどりをいかしたレクリエーションの場を整備し、自然の中で、ゆとりと豊かさを実感できる環境づくりを進めます

市民相談

市民相談室 (市役所1階)

☎23-1111内線293

- 人権 9月16日(火)、10月7日(火)、10月21日(火)13時~16時
行政 9月16日(火)、10月21日(火)、11月18日(火)13時~16時
一般法律(予約制) 毎週水曜日13時~16時
登記・供託・測量 11月14日(金)、12月12日(金)13時~16時
住宅(新・改築) 9月16日(火)、10月21日(火)13時~16時
発明・考案・特許 10月6日(月)、12月8日(月)10時~15時
労働 10月9日(木)、11月13日(木)13時~16時
下請け取り引きあっせん 9月18日(木)、10月16日(木)13時30分~16時
年金・社会保険・労災 10月14日(火)、11月11日(火)10時~15時
健康(予約制) 10月20日(月)、11月17日(月)9時30分~11時30分
消費生活 毎週金曜日9時~16時



- 手話案内 毎週金曜日9時~12時30分
建築設計・耐震 10月13日(月)、11月10日(月)13時~16時
高齢者職業 10月2日(木)、11月6日(木)9時~12時
一般市民 毎週月~金曜日9時~16時

福祉会館

☎33-2333

- 専門(法律・金融・住宅・保健医療、いずれも予約制) 10月9日(木)13時30分~15時30分
生活支援 毎週月~金曜日8時30分~17時

もしもし健康相談 (保健センター)

☎34-1221

・毎週月・木曜日10時~16時

青少年相談室 (市民センター2階)

☎34-7311

- 毎週月~金曜日9時~16時
悩みごとは「ヤングテレホン」 ☎33-7830 (ミミでナヤマナシ)
毎週月~金曜日9時~18時30分 (土曜日は13時~18時30分)

子ども教育相談センター (崇善小学校北側)

☎36-6013

- 来所 毎週月~金曜日10時~17時
電話 毎週月~土曜日9時~17時 (第2・第4土曜日を除く)

子育て相談室 (須賀保育園2階)

☎21-7639

- 毎週月~木曜日9時30分~16時 (木曜日は12時まで)

政機関からのお知らせ、赤ちゃんの健康メニューなど

みなさんの意見を いかしました

平成八年二月に四千九百九十一人(無作為抽出)を対象にアンケート調査を実施しました。有効回収数は

5000人
アンケート

新しい総合計画の策定にあたっては、様々な方法で「市民参加」を進めました。みなさんから寄せいただいたご意見は、今回の素案にできる限りいかしています。

平成八年九月に自治会などを通してお配りした「アイデア募集用紙」では、八百八十六件のアイデア(意見)をいただきました。

800のアイデア

平成八年九月に自治会などを通してお配りした「アイデア募集用紙」では、八百八十六件のアイデア(意見)をいただきました。

「素案」には、「泳げる海の実現」など約六百件をいかしています。

市民のついで

平成八年度まちづくり市民のついでには三会場で開催され、計二百四十人の参加をいただきました。市民の相互の話し合いのほか、市に對しても六十数件の意見をいただきました。「素案」には、この内「世代間スポー

問い合わせ先

企画調整課(内線327)

③ みんなで親しむ水辺とみどり

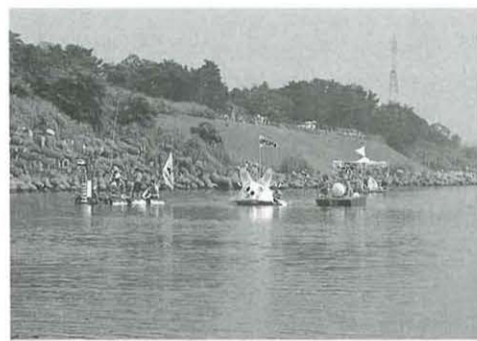
〈1〉 四季の海ときめきプラン

四季を通じて、だれもが楽しめる湘南の新たなマリリゾート「ひらつかの海」を創出します。湘南ひらつかビーチパーク周辺は、活気に満ちた躍動の海辺として、また、西海岸は落ち着いた自然環境の中でくつろぎの海辺として整備します。

- こんなプランを
 - 美しい海辺の保全
 - 潮風感じる海辺の整備
 - 湘南のニュースポット 新港の整備
 - 市民団体との連携によるビーチレジャーの展開



〈2〉 ふるさとの川せせらぎプラン



ふるさとの川を大切に、人と自然がふれあうことのできる、やすらぎの場を整備します。また、豊かな河川空間を活用し、市民が集まり楽しむスポーツ・レジャー拠点を整備します。

- こんなプランを
 - 馬入リゾート空間の整備
 - 花とスポーツ拠点の整備
 - 自然とふれあう金目川水系河川空間整備
 - 交流の舞台づくり

〈3〉 花とみどりうるおいプラン

市民の手による緑化の推進により、花とみどりに囲まれて暮らすことのできる生活環境を整備します。また、水辺の緑化や道路の緑化などのまとまりのある拠点緑化により、みどりあふれるまちづくりを進めます。

- こんなプランを
 - 花とみどりの名所づくり
 - 花とみどりの回廊づくり
 - 市民の緑化活動への支援
 - 公共施設における花とみどりの充実



〈4〉 湘南丘陵ふれあいの森プラン



湘南丘陵の豊かなみどりの中で、市民が自然を中心に人や芸術、科学とふれあう憩いの場づくりをめざします。また、新たな研究開発機能等の誘致による産業研究ゾーンの形成や、自然をいかしたテーマパークの誘致など、自然と調和した拠点づくりをめざします。

- こんなプランを
 - 自然と親しむ場の整備
 - スポーツ・芸術の場づくり
 - 学術研究機能の集積促進

〈5〉 さわやかスポーツコ

いつでも気軽に健康・体力づくりができる、スポーツ・レクリエーション活動の舞台となる場の整備を進め、市民が豊かに生きるスポーツのまちづくりに努めます。また、すべての市民が世代を超えて、健康でいきいきとした生活を営めるよう、スポーツ・レクリエーション活動を支援します。

- こんなプランを
 - スポーツ・レクリエーション活動の充実
 - 身近な活動の場の整備
 - ペルマーレ平塚を通じたスポーツのまちづくり
 - 多様な交流の促進

② にぎわいのま

〈1〉 快適な都市整備



〈2〉 新幹線新駅交流

新幹線新駅の設置を促進すると駅を中心とする拠点づくりや、新ム等も視野に入れた総合的なまちづくりをします。

- こんなプランを
 - 新幹線新駅の設置促進
 - 都市拠点の形成
 - 交通体系の整備

〈3〉 地域産業活力増進



産業活性化を促進し、地域の産業振興を図ります。

- こんなプランを
 - 産業活性化の促進
 - 地域の産業振興

教育相談



視覚障害のあるA君の番になりました。周りから「A君は目が見えないから、目隠しはしないよ」という声があり、最初は「そうだ、そうだ」という声が続いていました。一人の子が「だけどスイカ割りだから目隠ししたほうがいいよ」と言い出すと、一瞬シーンとした後、子どもたちは真剣に考え出しました。様々な意見が交わされる中から「A君はどうしたいのか」A君に聞いてみようということになりました。大人が障害のある子どもと一緒に参加できるようにと計画・実施し、満足していることが多い中、子どもたちは自分の体験や感性から、その個人の自己選択、自己決定を大切にしようという考えをもつて実践していました。

相手の気持ちを考えた子どもたちの感性のすばらしさ。知識だけでは得られないこの感性を交流教育を通して育てていくことが、障害のある子どもたちの正しい理解にとって大切だと思われま

◆子ども教育相談センター
崇善小学校北側(36) 6013

◆社会保険労務の相談を～年金、労務管理、労働基準法、労働保険関係などについて
▷9月19日(金)午後1時～4時・旭北公民館
▷10月14日(火)午前10時～午後4時・市役所市民ホール

質問

太らないための運動は



太らないためにはどれくらい運動すればよいでしょうか。また、効果をあげるためには、毎日しなければいけませんか。

お答え

体力を維持・増進し、健康を保つためには、運動で一日二百から三百キロカロリーを消費する必要があります。ウオーキングで九千歩くらい歩く必要があり、痛みが出たりするようであれば、やりすぎです。運動の内容、時間、回数などを見直してみよう。



◆保健センター
0311

無料相談会開く

問い合わせ先
地域づくり課市民相談係 (内線293)

◆契約と遺言は公正証書で～遺言、相続、金銭の貸借、借地借家などの契約について
・10月7日(火)午前10時～午後3時
・市役所市民相談室

◆社会保険労務の相談を～年金、労務管理、労働基準法、労働保険関係などについて
▷9月19日(金)午後1時～4時・旭北公民館
▷10月14日(火)午前10時～午後4時・市役所市民ホール